

ごあいさつ

令和元年度の活動報告書が完成いたしましたのでご高覧いただけますと幸いです。

元号が令和に代わり新しい息吹を感じる時代となりました。今年度も本学の栄養クリニックの理念である「地域及び社会貢献」「管理栄養士の実践教育」「臨床研究」の実現に向け、様々な活動を行ってまいりました。活動内容の詳細は本冊子をご覧くださいましたらと存じます。

近年、日本ではグローバル化が急速に進んでいます。今年は東京でオリンピック・パラリンピックも開催される予定であり、年齢や障害の有無、国籍、文化などの違いを持った人々や考え方をお互いに尊重する「多様性」が重要視されています。また、日本ではかつてない超高齢化社会が進み、その対応が急務の課題です。さらに、研究の分野においても、既存の学問体系の枠を超えた新しい学際的な考え方が広がりつつあります。これらの変化は食や栄養の分野においても例外ではなく、本学の栄養クリニックも、設立の理念とこれまでの実績をもとに、食と栄養について新しい時代にふさわしい考え方を構築していくことが要求されています。そのためには、今まで以上に様々な分野の人々や組織の考え方を取り入れ、協働して作業を進めることが必要と思われまます。

栄養クリニックはこれまで多くのご関係の皆様のおかげで発展を遂げてまいりました。特に、理事長の芝原玄記様、副栄養クリニック長の木戸詔子名誉教授、教務部長の中山玲子教授、前栄養クリニック長で現神戸学院大学栄養学部の田中清教授には、平成20年度の設立当初から多大なるご支援とご協力をいただいております。栄養クリニックを支えていただいております多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

今後も一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月
栄養クリニック長
宮脇尚志

